

活力あるまちづくりをめざして 「新たな決意と実行」

町民の皆様、あけましておめでとうございませう。平成22年の年頭にあたり、新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、ご家族おそろいで希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、日頃から町行政に対して温かいご理解とご協力をいただき、改めて厚くお礼を申し上げます。

昨年は、国においても政権交代という大きな出来事がありました。

長年言い続けられてきた「地方分権」

や「地方主権」という言葉を背景に、期待と不安が交錯する中、来年度からの国の施策が、どう変わり、そして、地方行政が、どう変化していくのか、未知数な部分があります。町としては国や県からの情報を密にして、来る平成22年度の予算編成に向けて、適切な対応を行ってまいりたいと考えております。

さて、私も町長に就任以来2年余りを経過し、今年は折り返しの年を迎えます。

昨年の出来事を漢字1文字で表すと「新（新しい）」という言葉になるのですが、本町におきましても、「新」という言葉のとおり、町民の皆様そして議会のご理解をいただきながら、数々の新規事業に取り組みさせていただいた年でもありました。

教育環境については、新しく統合甲佐小学校の校舎が完成し、現在、新しい甲佐小体育館も順調に建築工事が進められております。また、町立老人ホーム「緑川荘」および町立緑川保育所が民間に移行し、新体制による運営が始まった年でもありました。



甲佐町長 奥名 克美

町は、これまで行財政改革を強力に推進し、財源確保に努力したこともあって、財政調整基金の積み増しや公債費比率の抑制といった点でも、徐々にその効果が現れてまいりました。そうした財政効果などを主な財源として、本年度から重点施策として取り組んだ「子ども医療費助成」（中学校3年生までの医療費無料化）や保育料の見直しなどによる子育て支援の強化に努める一方、地域活性化の一翼を担う「特産品開発事業」にも着手したところであります。

また、定住促進の推進を図る意味から、

今年度は、高度情報通信の基盤整備として、町内全域を対象とした「光ブロードバンド」の整備にも着手したいと考えております。この整備を行うことによって、地域間の情報交換をはじめ、企業進出あるいは各種産業や教育の環境整備、高齢者や災害時要援護者に対するネットワーク体制の確立など、多くの分野において事業効果が表われると考えられ、その成果が大いに期待されるところでもあります。

ところで、今後予想される甲佐中学校の改築などの学校施設整備には多額の経費が見込まれ、中長期の財政事情を考慮したときに厳しいものがあります。少子高齢化の進行に対応した医療・保険・福祉施策の推進や、生活関連施設の整備、あるいは資源循環型社会の構築などの環境施策の推進など与えられた課題は多く、それらの問題の解決に向けて、引き続き、組織のスマート化や町有地の資産運用のあり方なども含めて検討をしていくことが重要だと考えております。

本年も、引き続き「町政に対する信頼の回復」を基本として、町民の皆様のご期待に沿うよう、強い信念と情熱を持ち続けながら、また職員一丸となって知恵を絞り、「甲佐町の再生」という大命題に向けた政策の実現に全力を尽くす所存であります。

今後とも、町議会をはじめ町民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が、輝かしい良き一年となることを心からご祈念申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

新年明けましておめでとうございませす。平成22年の年頭にあたり、甲佐町議会を代表して、謹んで新春のご挨拶を申し上げます。

皆様方には新たな期待と希望をもつて、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、旧年中は、町議会に對しまして温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は、新型インフルエンザが全世界において流行し、また、日本経済においては、物価が下落し緩やかなデフレ状態となり、更には、為替市場の急激な変動により円高が進みました。

日本政界においては、夏の衆議院選挙により国民の選択で政権交代と相成り、これまでの既成概念にとらわれることなく、無駄な予算、公共事業など従来の政権では手が付けられなかった「歳出の中心」を抜本的に変える「事業仕分け」等

新年の挨拶

甲佐町議会議長

中村 幸男



による大改革が進められているところで、このような不透明な社会情勢の中で、本町におきましては、甲佐中学校の校舎、体育館等の建設をはじめ、行財政改革、産業振興等課題は山積しております。このような中、議決機関としての議会は、

議事に与えられている議決権等の諸権限に基づいて、町民の方々の視点から、執行機関による事務事業全般を監視する責任を有しています。よって、議会としては、町民の皆様の代表であることを強く自覚し、日々研鑽に努め、開かれた議会づくり、負託に応えられる議会づくりを目指して、更に頑張っていく所存です。今後とも、町民の皆様の積極的なご提言やご支援をよろしくお願い申し上げます。年の初めにあたり、皆様方のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

夢と希望にあふれる教育の創造

甲佐町教育長

溜渕 誠也

教育広報紙『ぼとんぼす』で家庭に紹介されていますので周知のことと思ひます。甲佐町教育委員会では、教育に對する熱い思いを可能な限り反映すべきと考え、関係機関と連携・協力して子ども「生きる力」を育み、夢と希望にあふれる甲佐の教育の創造への実現に努めたいと、昨年9月に「甲佐町教育振興基本計画」の概要版を策定したところで、

この計画では、家庭教育を教育の出発点と位置付け、幼児教育から学校教育、生涯教育へと繋げて、社会情勢の急激な変化にも適応できる逞しき、豊かな心を持ち合わせた人材の育成に努めたいと考えます。

今後とも、21世紀を担う青少年が心豊かに健やかに成長するよう学校、家庭、地域がパートナーシップを発揮しながら、甲佐の教育を推進して参りたいと思ひます。

町民の皆様、新しい年を迎え謹んでお慶びを申し上げます。学校教育や社会教育において、地域の方々のご理解、ご協力、ご支援をいただいておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。本年も心強いご支援をよろしく願ひいたします。さて、県教育委員会では、昨年3月に家庭教育、学校教育、社会教育の強固な連携のもとに、「くまもと『夢への架け橋』教育プラン」を策定し実行に移されることになりました。この教育プランは、家庭や地域での教育力の向上に向け、地方自治体と地域が取り組むべき教育振興に関する方策を総合的に取りまとめたものです。この教育計画の概要は、熊本県

